

全国高圧ガス容器検査協会青年部会 海外研修報告書

渡航国：ミャンマー（マンダレイ及びヤンゴン）

期 間：2019年11月10日～16日

参加者：山田拓也、白砂伸之、長岡伸剛、白石潔、笠原幸治、涌田健太、森光太郎、荒畑誠

内 容：ASEAN LPGフォーラム LPGミャンマーへの参加、S o g o G a s 様他への訪問



マンダレイのS o g o G a s 様



カセットボンベへの再充填機



S o g o G a s 様の充填所



S o g o G a s 様の充填所



ガス充填機



自社制作の残ガス回収装置



中国製バルブ脱着機



中国製の耐圧試験機



中国製の研磨機



中国製の粉体塗装機



中国製の焼き付け乾燥炉



中国製の気密試験装置



SWE社ミンミン社長との会談



SWE社ミンミン社長との会談



青年部会からフォーラムへの参加者



LPGフォーラムの展示会場



E l i t e 社の社長と会談



E l i t e 社の社長と会談



A w R a 社 充填所 容器置き場



A w R a 社 充填所 容器置き場



日本製の中古容器



A w R a 社 充填所 容器受け入れ状況



A w R a 社 充填所 在庫置き場



A w R a 社 充填所 在庫置き場



A w R a 社 充填所 タンク



AwRa社 充填所 充填施設



消火器 (ピンが外れている)



AwRa社 オートガス スタンド



AwRa社 オートガス スタンド



AwRa社 オートガス スタンド



AwRa社 オートガス タンク (2種)



AwRa社 オートガス タンク (トランク設置タイプ)



オートガス スタンド



AwRa社 オートガス コンバージョンキット



AwRa社 オートガススタンド 集合写真



道端で売られているガソリン



日本語表記のままの中古車  
※総体的に日本製の信頼は高い

## 海外研修を終えて ミャンマーの現状と今後の展望

ミャンマーでは容器再検査を含めガス事業全般の法令が未整備であり、LPガスに関する知識や経験が未熟である為、日本では考えられないLPガスの取り扱い方を行い事故が起っています。その状況下で、マンダレイのLPガス販売店であるS o g o G a sの社長は「ガスユーザーと自社のため事故を起こさないように自主的に容器再検査を行っている」と話し独自で研究し中国製の設備等を揃えて再検査を行っていました。

また、大手ガス事業者であるE l i t eの社長は「中国製の製品を使用している作業は中国の基準を取り入れ、タイ製の製品を使用している作業はタイの基準を取り入れながら事業を行っている。行政が法整備を進めているのは承知しているが、現場は止められないので独自で研究しながら事業を行っている。日本からも学びたい」と話されていました。

現地LPガス事業の第一線の方々から話を伺い、法令は未整備でも保安に投資する意識があることを確信し、日本の事業者が海外において容器再検査事業を行える可能性があることも感じました。

現在、ミャンマーでは資源エネルギー庁にあたるM P E (Myanma Petrochemical Enterprise)に、日本のKHK並びにアラハタLP Gコンサルティングがガス事業の法整備に協力や指導を行っており、日本の法令を基にした法整備が徐々に進むことが期待されます。このような中で、日本の容器再検査事業者が民間事業者として現地の民間事業者との協力関係を構築しミャンマーにおける容器再検査事業等の可能性を探ることは、今後海外での事業展開を検討する上で貴重な経験になると考えます。

今回の海外研修に対しましてご協力とご理解をいただいた皆様に感謝申し上げますと共にこの貴重な経験を業界の更なる発展へと活かすよう精進して参ります。

全国高圧ガス容器検査協会青年部会  
部会長 山田 拓也